

Ⅸ 特色ある公民館活動

地域とつながる公民館事業 ～福祉事業とボランティアの取組み～

朝倉市 安川公民館 館長 井上 毅

[事業名]

福祉事業と福祉ボランティアの取組み

[事業の目的]

少子高齢化といわれている中で安川地域においても、まちづくりの担い手である若者や子ども達が年々少なくなり、高齢者の方が増加してきている状況から、若者に住んでもらうための環境づくり、又高齢者の住みやすい環境づくりを目的とする。

[事業の実施主体]

安川地区コミュニティ協議会

[連携・協力機関・団体]

公民館、地区社会福祉協議会、民生委員、女性の会等の各種団体

[事業予算（平成22年度）]

子育て支援	（入学祝金・出産祝金）	500,000円	（地区）
高齢者支援	（ほのぼの配食）	237,000円	（地区及び市補助）
	（誕生ケーキ）	88,000円	（地区及び市補助）
	（福祉体験・お餅配布）	33,000円	（地区及び市補助）

[実施に至る経緯]

少子化問題は、地域の重要課題となっている。0歳児～14歳児の数は10年前（329名）に比べて、平成23年3月31日現在で205名と124名減少してきている。地域の行事も子どもの参加が減少し活気がなく、校区として将来学校の統廃合問題にも発展していく事が心配される。高齢者比率は10年前の23.8%に比べ32.3%と高くなり、3人に1人が高齢者という状況である。（朝倉市 27.3%）

このようなことから、公民館、地区コミュニティ協議会、社会福祉協議会等が連携・協力し、高齢者には毎日を元気で過ごしていただくということを目的としたふれあい事業を実施し、子育て支援については、平成16年頃から検討（事業・予算等）し、若い人や子どもは「地域の宝物」という思いから、地区に永住してもらおうということで実施。

[プログラム作成の視点]

- 子育て支援として、「入学祝金・出産祝金の支給」の制度をつくり実施。
- 高齢者支援として、一人暮らしや高齢者の家庭を訪問し、ふれあいを目的とした事業を計画。誕生ケーキの配布、ボランティアによるほのぼの配食やお正月のお餅の配布、小学生は地域の行事に参加しているが、中学生はクラブ活動等で行事に参加する機会が少ないことから、クッキーなどを作り配布し、ふれあいを目的とし実施。

[事業内容]

1 子育て支援事業

- 入学祝金（小学校）
- 出産祝金

若い人に安川地域に永住してもらおうと言うことで、安川地域独自の永住対策として「子どものための福祉祝金」の制度を創設した。協議する中で、出産時、七五三の祝い、入園時、小学校入学時、中学校卒業時、立志式などいろいろな意見がでたが、協議の結果、小学校に入学される子ども達に「入学祝金」を、出産された方に「出産祝金」の支給を平成19年度から始めた。

子どものための福祉祝金の支給について（内規抜粋）

- 1 出産祝金（1万円を2年間支給）（平成23年度一部改正）
- 2 小学校入学祝金（入学時に1万円を支給）
- 3 前2項については民生委員で対応する
- 4 対象は安川在住で区費納入家庭の人（含納入免除者）とする

民生委員の方が、お祝いのことばと主旨を話し渡している。受け取られた方からは、「入学祝いの品を買い記念にしたい」「育児に充てたい」等、この制度に対してのお礼の言葉などをいただいている。

2 高齢者支援事業

○元気に過ごしていただくということで 次の事に取り組んでいる。

■ ほのぼの配食



■ 誕生ケーキ



- ほのぼの配食・・・65才以上の一人暮らしの家庭へ、女性の会のボランティア（80名）の方が季節の食材を取り入れた弁当を作り、民生委員により配食と会話を目的として実施。（年8回）
- 誕生ケーキ・・・区会長さんが90才以上の方が居られるお宅へ、お祝いとふれあいを目的としてケーキを持参。（70名）



■ 中学生の福祉体験(クッキーづくり)



■ お正月のお餅つき



- 中学生の福祉体験・・・女性の会の指導のもと、中学生が手作りクッキーと自分で書いた手紙と一緒に、80歳以上の方が居られる家庭へふれあいを目的として配布。
- 正月のお餅配布・・・地域の行事として実施。住民の方に参加してもらい、できあがった餅をみんなで食べ、併せて一人暮らしの家庭へお餅を配布。

事業の成果

子育て支援への取組みは、定住促進としての効果はすぐには表れてきませんが、地域で子どもの育ちに積極的に関わるきっかけづくりや地域全体で子育てを応援する地域づくりにつながっていると考えている。

高齢者支援についても、異なる世代との交流が活性化され、高齢者、子ども達、その親世代にとっても地域とふれあう良い機会になっている。

今後の課題

地域で生んで育てる環境づくり、又買い物弱者や独居老人などが、社会問題となっている中で地域と高齢者を結ぶ環境づくりに取り組んでいるが地域ではやはり限界がある。

行政的な課題として、朝倉市、安川地区に住んで暮らしていけるよう、企業誘致や都市圏への交通機関などの環境づくりに取り組んでいただく必要があると考えている。地域として今後も地域のできる事に取り組んでいきたい。

(問い合わせ先) 〒 838-0016
 朝倉市下湊737番地 安川公民館
 電話 0946-22-2017 FAX 0946-21-3297